

# 共創プログラムの進め方

予測できない不確実な課題に対し、叡啓大学では「独自のフレームワーク」と「定例会議」を組み合わせ、プロジェクトを推進しています。

## 6ヶ月間の共創プログラムの流れ

3ヶ月

### 価値探索プロジェクト

#### 『企業の新しい価値探索』

企業のミッション・ビジョンや解決したい社会課題から焦点を当てる価値を決め、実証したい活動を特定する

企業経営層  
プロジェクトリーダー

大学教員

3ヶ月

### 学生実証プロジェクト

#### 『価値創出の実証実験』

叡啓大学のプロジェクト推進アプローチを学修済みの学生をメンバーに加え、価値創出の実証実験を繰り返す

企業経営層  
プロジェクトリーダー

大学教員

学生

## 定金教授に聞く!

### KEYWORD

#### KEYWORD 1. 環世界

##### 『私たちは違う世界を生きる』

一般的なプロジェクトって「みんなが同じ『環境』にいて、同じものを見てる」って前提で進むじゃないですか。でも、生物学者のユクスケルが言う「環世界」って概念を借りると、同じチームにいても、人によって見えてる世界が全く違うんです。だから「みんな同じにしよう」と無理に揃えるんじゃなくて、それぞれが別の世界を持っていて、それぞれ美しいんだっていう前提に立つ。プロジェクトって、まず違いを出して、お互いの世界にアクセスし合うのが大事なんです。

定金 基 サダカネ モトイ

叡啓大学 産学官連携・研究推進センター教授  
株式会社コパイロット代表取締役社長/共同創業者  
2005年に株式会社コパイロットを創業し、デジタル領域を含むプロジェクト推進の伴走支援や、プロジェクトを前に進めるための方法論(Project Sprintなど)の実践・発信に取り組む。2023年より現職。日本ナレッジ・マネジメント学会理事、MITテクノロジーレビュー日本語版エグゼクティブプロデューサー等も務める。

#### 『目的は立ち上がってくる』

共創プログラムで扱う「新たな価値」って、最初から目的・目標がカチッと決まってるわけじゃなくて、正解もゴールも手探り。これって「現れる」という意味の英語「エマージ」に近いと思ってます。個々が自分の環世界で動いて、出力を持ち寄って、対話する。その状態の中で、だんだんと「あ、これをやるんだ」と立ち上がってくる。最初から作るんじゃなくて、現れてくるんですね。

### KEYWORD 2. エマージ

#### KEYWORD 3. センスメイキング

##### 『正解ではなく納得』

カール・ワイクのセンスメイキング理論では、人は正解を見つけてから動くのではなく、行動や出来事とあとから振り返り、「何が起きていたのか」を意味づけしながら現実を理解していくとされます。共創プログラムもまさにそうで、最初からゴールが明確なわけではありません。だからこそ、フィールドワークで気づきを得て、毎週の会議で振り返りながら「いま何が起きているのか」「次に何をすべきか」を見立てて直していく。この意味づけの積み重ねが、前に進む力になるんです。

#### Project Sprint

##### アウトプットを繰り返す 毎週の定例会議

6ヶ月を、1週間単位の「スプリント」に分割して進めます。毎週開催される定例会議は、単なる進捗報告の場ではなく、プロジェクトを最速で前進させるための「意思決定と納得の場」です。

#### KEYWORD 4. インテグリティ

##### 『上手・下手より誠実さ』

インテグリティって、要は誠実さ。年齢や肩書き関係なく、自分の意思で「これがいい」と真剣に出力できるか。一人ひとりが自律して動いていけば「失敗」なんてないですよ。ジャズのセッションみたいに、相手の音に乗れるのは、その音が確信を持って出されたものだから。「なんとなく」の音が混ざると崩れる。共創のチームは、ここが土台です。

#### KEYWORD 5. ソリチュード

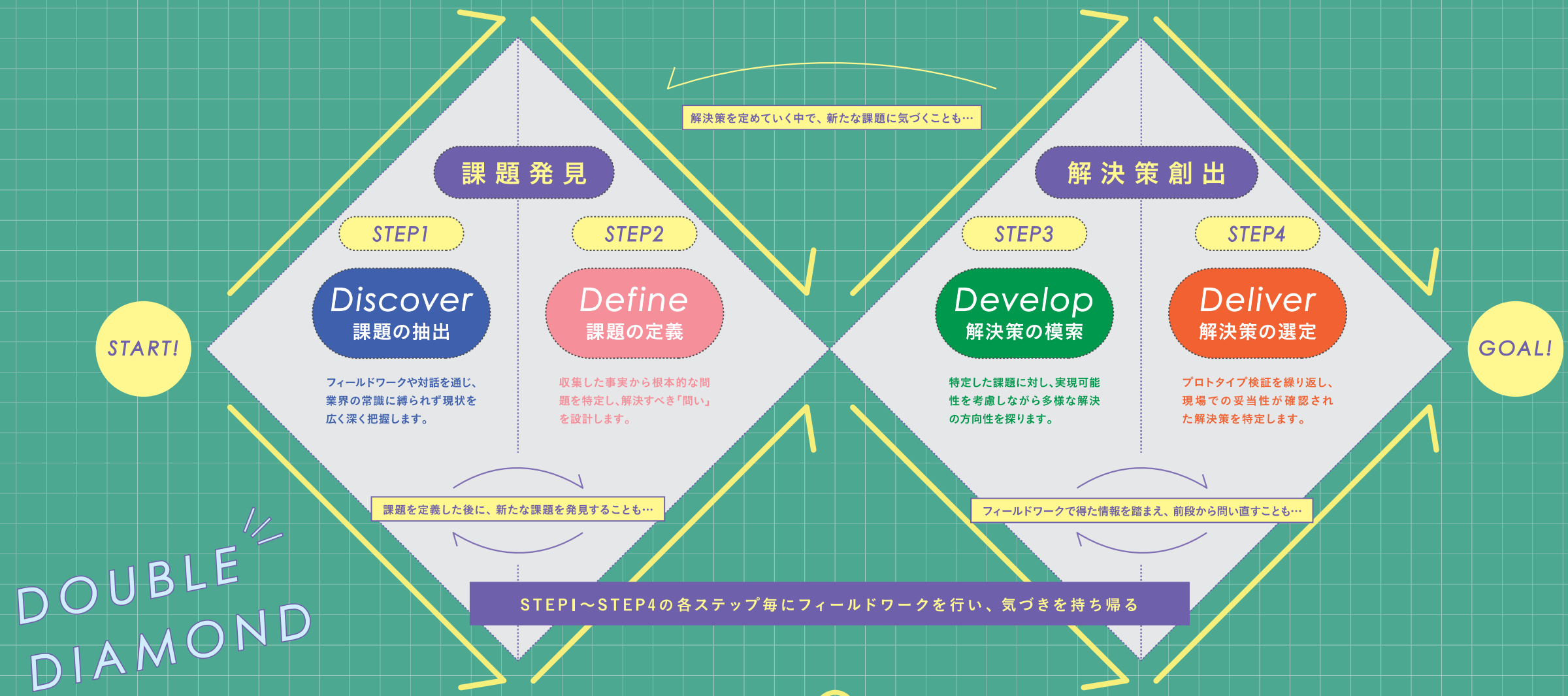
##### 『豊かな孤独』

チームで共創するって言うと、みんなでワイワイやるのを想像しがちですけど、僕は「孤独」がめちゃくちゃ大事だと思ってます。これは仲間外れになる「孤立」じゃなくて、「孤独(ソリチュード)」。つまり1人で考えたり何かをつくる専ら時間のことです。共同体に埋没して空気を吸わなくて、自立した「個」として現場に行き、手を動かして出力する。この強烈な「個」の活動があるからこそ、集まったときの対話(セッション)がぐっと深くなるんですよ。

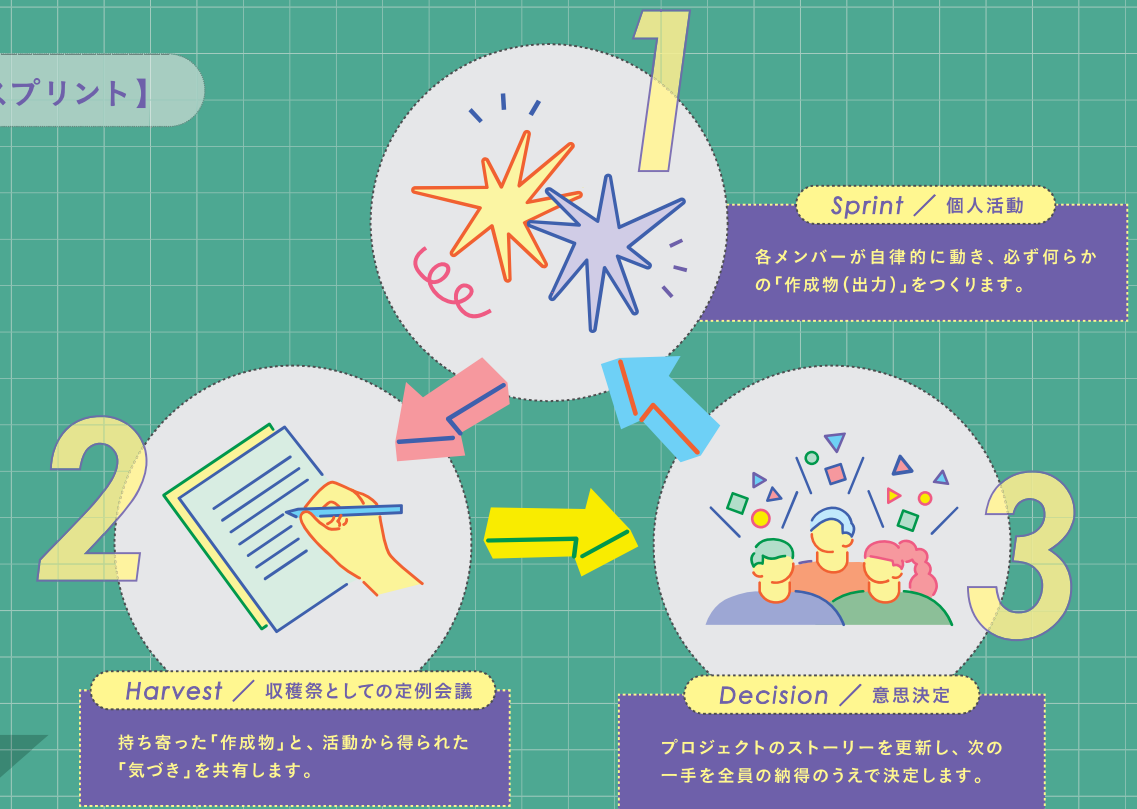
#### Eikei Project Framework (EPF)

##### 課題発見と解決策創出のサイクル

プロジェクトを「課題発見」と「解決策創出」の2つの大きなサイクル(ダブルダイヤモンド)で捉え、6ヶ月で新たな価値を探します。



スタートからゴールまでの6ヶ月間、1週間単位で行う【スプリント】



## 1 week